いわき民報
發行所　いわき民報社
平市田町八四電話一四二番
印刷人兼發行人　千葉喜惠
日刊但月曜を除く　定價一ヶ月一圓二十五錢

統一の第一段階へ
農民戰線
郡の連合會系と協議會系が結合し

折笠藤雄氏というのをかかげることゝし、こゝに懸案の日農石城協議會との戰線統一問題について協議した、社會黨からも特に大内常ばん支部長、清野庄十郎執行委員（農業會支部）も臨席したが、協議會と組織的結合は先づ第一に農民組織の分裂は農民自身の不幸であり、來るべき農業協同組合の設立には統一された組合組織が核心となつて始めて勤勞農民主體の組合が結成出來るのであるとの點から根本的に結合を認め、結合へのスローガンには日農協議會はこれをしているが、これ會は全國組織の一部でも今年度の豫算執行ることを認め、これが困難のため、稅收入が再建擴大强化をはかるあるまで臨時に借入れ

日委員會を開いて、日準備をなさしめることとする事になつた

百万圓借入れ
平市會
一部修正で原案可決

平市會は前日の委員會で全部審議完了、二十二日午前九時二十分開結合は先づ第一に農民會、第一部から第五部組織の分裂は農民自身まで各委員長の報告があり、委員會決定通りき農業協同組合の設立一部の修正を見たのみには統一された組合組で全部可決確定した、織が核心となつて始めて次いで急施議案として勤勞農民主體の組合百萬圓一時借入れの件が結成出來るのであるを附議、助役の說明あとの點から根本的に結つたが、平市はさきに合を認め、結合へのス百五十萬圓の一時借入ローガンには日農協議れをしているが、これ會は全國組織の一部を業者は魚介類三十九、でも今年度の豫算執行開してい、なお市配ることを認め、これが給課ではお魚やさんの困難のため、稅收入が登錄についてつぎの注うち鹽乾物六十五軒でこの意を促している十六軒が指定されること

魚の登錄迫る
投票場は四ケ所に

平市內のお魚やさんのとになり鹽乾物業者に登錄は二十六日いつせ限り十九軒のオミットいに行はれるが、二十が豫想されるが登錄を日現在市配給課に申三日まへに迎えて業者込みのあつた小賣希望はお得意爭だつ戰を展

小名濱町信用組合では總代改選の役員會を終つた

農業技術者協會
支部長に村井忠氏

農業技術者の相互研さんにより農業技術の民主的確立をはかるため郡下の農業技術員三十余名は一丸となつてこのほど農業技術者協會石城支部を結成、農村の民主化に第一步をふみ出した、事業としては農村技術の民主的確立に關する調査研究をはじめ推進と農業技術者間の交流民主的諸團體および農業技術機關との提携と講習講話會開催等につとめ、陣容もつぎのとおり決定、支部長には生産課長村井忠氏が選ばれた、

◎支部長村井忠（生産課長）◎副支部長木村武彥（內鄕）安島孝（勿來）◎幹事渡邊肇（支部）

酒井夫人が
市內民生委員に

南町酒井ツネさん（五二）は二

容疑者捕わる
仲裁を誤解されての兇行

【既報】暴漢と漁船上で亂鬪したが、早合點した漁夫連は通行人の仲間と見間違つて藤山になぐりかゝつたので激昂した藤山は數十分後仲間數名とゝもに同港にけいりゆう中のうらん丸になぐり込み逃げおくれて海中に飛び込んだ宮城縣本吉郡大谷村生れ現住所小名濱町古港二〇尾形萬さん（二四）と岩手縣上戸郡

幹線排水路の設置と
眞似井川縣費支辨を
市會が決議の二つの意見書

平市內の衛生狀態は常に注ぎ排水させる計畫のもとに市會の決議に問題になり、特に下水の惡いことは定評となつているが、都市計畫に附帶してこれを改善すべく、平市ではえき前から小太郎町にいたる三十米幹線道路に幹線排水路をマンホール見書を提出する下水道事業施所に關する意見書

◎投票場　市役所、第二、三、四小學校の四か所で二十六日午前七時から午後六時まで投票はいづこでも差支えない

◎登錄票　綜合通帳のほど市の民生委員に引替へに投票場で渡す、なお投票をおこたると鮮魚介の配給を停止されることになる

本市公衆衛生施設の一事を同時に御施行願いれ今日に至ましたが明かにして誠に憂慮にたく尙其の他の街路に現在に於ては護岸、根堪えざる現狀でありま一日朝死亡したが佐々木權次郎さん（三七）は生命に別條ない、詳細な原因について目下取調中

言すきわい

◎市會から幹線排水路について意見書提出もつと今後はお早く願いますす

◎農民戰線統一いよ〳〵第一段階に入る何卒御圓滿に

◎神谷農試分場復活よし但し官僚的復活は極力排撃すべし

◎おぼん迫る　はやし物ようなもので刺傷太鼓の音もさえるしたらしい、なお尾がイモと粉腹ではネエ

大踊盆興復會
加參も門一柳花
援支も會存保謠民士鄕

暫く成行靜觀

農試分場復活に郡農民連合會が

小名濱殺傷事件の後報

戰時中遂に廢止の運命にあい、女子農民修練所にてん換された神谷動の合一以前には双方とも支持の態度をとら村の縣農事試驗場石城分場の復活問題は昨今

民報論壇

寄附金拒絶

平市四丁目佐藤幸太郎、舊城跡正木昌次郎、中央通り猪狩四郎の三氏が『自今寄附金は一切お斷り』の申合せをしたとのこと、佐藤氏は平硝子工業、平木工會社平繰珠會社の經營者正木氏は平土地住宅會社、平肥料、平石材採堀其の他數會社の社長、猪狩氏は市內有數の地主であり猪狩建設事務所に依つて鐵道專用線の貨物ホーム建設中であつて、三氏とも新興事業家の三人男と稱せられる新人だ。平市の代表的事業家である彼等が「寄附金お斷り」の看板を掲げたことは一面市民をして奇異の念を抱おしめ「彼等が寄附をしないなら一體誰が寄附に應じられるや」と街に新しい話題を提供している。

なるほど新興事業家三人男の寄附拒絶は不思議のようにも感じられるが、最近の事業界は周圍で見るような生やさしいものではない。ストック原料は喰ひ盡し仕事するため新しい原料を購入するには高い闇が伴う、電力節限に依つて休日が多くなる。勞働攻勢がこくしくなつて賃金は昂騰する一方だ加うるに金融面から閉め出しを喰つて右へも左へも動きのとれぬ金しばりに遭つているのが最近の事業界で文字通り四苦八苦の態たらくである。彼等の言い分は一地方産業振興のため吾等に寄附金をよこせというのである以上の點から觀じ筆者も又日本の產業がある程度に立直るまで、寄附行爲を中止すべきことを提唱するものである。

寄附金に依存する事業はこの際一切控えるべきあでろう

野澤武藏

平市五丁目　釜屋商店

パーマネント
◆部品粧化◆メイ
◆物間小品粧化粧良優◆
下門山牛メイ

永山ツル子
平市田町ベ八

節電休日の工場の動力に!!
農事機械化の動力に!!
ヤンマーディーゼルエンヂン
▲三馬力以上百三十馬力迄受注印納
▲四馬力で一重油只の三升で運轉出來る
過去拾年の實驗地三百台の需要家に依つて證明された最優秀機
山岡內燃株式會社
福島縣代理店　常磐ヤンマー製作所
平市新川町六（電九八四・八一九）

平市仲田町（電六二五）
內科　小兒科
三井醫院
三井五郎

◇小型自動車修理部
くろがねダットサンダイヘツマツダ
平警察署前通
三浦商會
電八六四番

心細い食油と味噌醤油

原料不足に祟らる

綜合榮養配給の建前から食糧緊急對策の一つとして味そ、醤油及び食油等の政府は配給確保を期しているが、原料不足のため配給量は少く心細い狀態である農林省が國會の農村委員會に提出した資料によると次のようである

味噌　昭和七年から十五年までの生産高は一億五、六千まん貫で一人當りの消費量は年三貫匁、二十年度は國内産大豆、いも等をフルに利用しても五千七百まん貫程度で一人當り約一貫匁

醤油　昭和七年から十五年までの平均消費量は年間四十七まん石、十三年には一人當り七合三勺使つたが、二十二年度は一十七まん四千石で一人當り二合五勺配給の見込み

食油　昭和十二年から十五年までの平均消費量は年間四十七まん石、十三年には一人當り七合三勺使つたが、二十二年度は一十七まん四千石で一人當り二合五勺配給が、從來の約九割強の値上りである

◎一級　マダイ、チダイ、レンコダイ、スズキ、ブリ、マグロ（九月―十月）カジキ、キハダ（生産地乙地域卸價格貫當り九三圓二〇錢

◎二級　アマダイ、イトヨリ、マガツオ、ヒラメ、サケ八四圓

◎三級　メカジキ、ハモ（五月―十月）ニベ、ホンマス七四圓八〇錢　黒ダイ、一（一―二月）メヌケ、グロ（六月―八月）バショウカジキ、（十一月―四月）ハリイカ六五圓六〇錢

◎四級　黒ガシラカレイ、ナメタガレイ、トビウオ四二圓六〇錢

◎五級　イボダイ、ボラ、メイタガレイ、マツカワカレイ、ナギムシガレイ、石ガレイ、コガレイ、六一圓

◎六級　ヒゲタラ、アジ、サンマ（九月―一二月）メヌケ、シイラ五一圓八〇錢

◎七級　サバ大（百匁以上のもの）ソウダガツオ、マガレイ二八圓八〇錢

◎八級　アオサメ、イシナギ、ヒラ、キチジ（五寸以上のもの）三三圓四〇錢

◎九級　イワシ、マダラ、アキバガレイ赤ガレイ、ソラハチガレイ二八圓八〇錢

◎十級　サンマ（一―八月）スケソダラ、アカエイ二四圓二〇錢

◎十一級　ニシン、ホッケ、油サメ、ヨシキクサメ一九圓六〇錢

◎十二級　油ガレイカスベ一五圓

可愛い子供の慰問

―疎開中の好意に應えて―

東京都中野區大和町小學校兒童矢島よう子ちやんほか六名は乙顏先常磐物産平出張所眞根生に連られて二十日ゆ井民門氏は本皮製革履本町表町根本綴二さんの病床を訪れ童謠や遊戯で根本さんを慰めて歸京した、根本さんは

區根井氏から一平市本皮草履寄贈一田町

鮮魚價格値上げ

―きようから實施する―

新物價体系による鮮魚價格は左のとおり（單位貫）

平四六〇〇〇、常ばん炭鑛六九二〇〇、古河炭鑛二〇四八〇、大日本炭鑛一五二〇〇、植田、勿來方部一三四八〇、綴方部一六〇〇〇、好間一五二八〇、赤井日曹七九二〇、小名濱二九八〇〇、江名一三六〇〇、ゆ本二四〇〇つて各山元に呼びかけているが、二十日現在四倉六四六〇、日本水素工業四五〇〇、呉羽化學六〇〇〇、品川白煉瓦二五〇〇、いわ城セメント四〇〇〇　計三〇〇七〇〇

青果物の

目標の僅か一割の程度

振はぬ坑木增産

重之助、パレス、日用舍、此佐代吉、佐乃屋、花澤屋、エビス

郡では八、九の二か月需要表を添付することをたのみます、くれ表に記入せず區別して提出すること

自警團に野荒し捕わる

小名濱町中島唯七郎さん　市會ある毎に傍聽席にがんばつて「流石は熱心なもの」と評判よい　當人好人物で一役と農業會石城支部では緊急青果物取扱要領にもとづいてこのほど炭鑛、漁場その他大工場等への第二四半期の青果物配給割當を行つた、割當つぎのとおり（單位貫）

◎鈴木平市長の最高顧問と稱されている强口土工菅野與五郎（三）は十九日夜九時半ごろ松の内松本祐夫さん方の畑からマクワ瓜を五

湯本納涼民謠の夕

ゆ本町納涼民謠の夕は二十一日の朝まだき市配給かに一邊の葉書が舞い込んだ

□宛名は市長殿、差出人は不明

□内容はお盆も近くなりましたので油の配給をたのみます、くれ〳〵もご盡力のほどを

―と記してあつた

喜べ今年は豐作

穗も出そろう

郡下の水稻は豐作型の陽氣でそろ〳〵穗が出

急募

談來　人本　乙本

製鐵工　若干名
鍛冶工　若干名
見習工　若干名

日諸機械製作　小名濱
製鐵　上朋神町
鍛造

遠藤鐵工所

日鐵常磐大會

きよう から磐女で

日鐵常連の第一回常磐地區夏季勞働大學は今二十二日から二十六日まで五日間の豫定で磐女講堂に開催したが二十四日以後は平市公會堂日本間で開く、毎日午前中が講義で午後は三時まで自由質疑應答を行うが講師とは程は左の通り

□二十二日新時代と婦人代議士山崎道子

□二十三日新憲法と民主政治東大講師堀眞琴

□二十四日現下の政治經濟理論と實際九大敎諭波多野鼎

□二十五日日本を繞る國際情勢元外務省一等書記官代議士高宮太平

□二十六日危機突破と勞働組合日鐵百五十圓、二等壹百圓三等五拾圓等十等まで賞金を出したが嚴密なる審査の結果左の通り入賞

◎一等鈴木字之吉◎二等松本庫造◎三等渡部ミツ◎佳作高澤

湯本町内野球大會

スポーツ連盟ゆ本支部主催のゆ本町内野球大會は來る十九、三十の兩日町營グランドで

石炭油類の申請の改正

商工局平出張所では指定生産者林中石炭、亞炭、コークス及び工業用石油製品は月別に申請書を提出すべきであるが徹底していないので、これからの申請書分から左記により申請するよう改めて二十二日より實施される

一、授業開始　九月十日
一、本科（六ヶ月）　一〇〇名
一、研究科（六ヶ月）　五〇名
一、願書締切り　九月五日まで

公認平文化服裝學院
平市南町一公會堂通（電一〇一九）

小名濱に ミシン店

小名濱驛より一丁半、沖見町七

滯通りお客樣の爲め、出張所を開業致しました、最非現品を御覽ん下さい

大和屋ミシン店

優秀ミシン販賣と修理　平驛前・田町五四

洋服 キモノ 高價・親切 買へ 福屋

銀通り白　平驛前

街の銀座

ア　阿　コウ　康　へ

町　番
田　4
市　4
平電

家庭醫藥品の御用は

評畫映

綠のそよ風

石崎久雄

此の映畫は「迷へる一家庭を描くことに天使」で吾々に深い印象を與へたマーガレツトオブライエンの一九たアメリカ農村の美し四五年度主演映畫である

森林と綠の草原に掩はれた自然美豊なアメリカの純農村を背景としてノルウエー系移民イエン或はエソード活描寫を主軸としてそ

Gロビンソン等の好演技は勿論この映畫に於て大きな役割を演じてるがそれらを考慮の外に置いたとしてもこの映畫全體から受ける印象は清らかな美さに滿ちて居つて吾々自體が斯くありたいと云ふ迄も救はれる樣なホツとした氣分になる

この映畫の構成はアスー家の生活と多少の繋りを持たせながらも別箇に發展させ最後に新聞編村生活の美さを肯定さにデモクラシーを理解することができる

一家によつて代表させるアメリカの農村の生活が如何に美しいものであるかと云ふことを優らしくなり過ぎた「我が道を往く」程の迫力はないが淡々とした美しさのともつた佳作

吾々はデモクラシーの定義を云々するよりも寧ろマーテイニアスのセルマに對する態度を見

永瀨醫齒骨董貴金屬

高價買入

平市南町　中央會館